



開発計画等へのグリーンインフラ(ブルーインフラ含む)の位置づけが進むとともに、グリーンインフラの効果を最大限生かした官民の連携による国土・都市・地域づくりを可能とする。

①グリーンインフラの機能の評価

ウェルビーイングを含むグリーンインフラ機能の新たな評価手法を確立するとともに、グリーンインフラのポテンシャルとニーズを評価し、ニーズを満たすためのグリーンインフラの規模と配置条件を検討。

②グリーンインフラに関する省庁連携のためのデータ基盤の構築

自然資本や国土利用に関する空間情報を一元化し、共有するためのデータ基盤を構築する。

③グリーンインフラ実装に向けた計画・制度の検討

各省庁の計画や政策と土地利用の関係性を整理し、グリーンインフラの新たな展開を実現するための方策を検討

④グリーンインフラ認証制度の検討・実装

グリーンインフラの実装を進める民間事業者および自治体への支援策となる認証制度を検討する。グリーンインフラの定義の明確化や評価基準の設定を行い、運用に向けた制度や体制を提案する。

⑤グリーンインフラ導入・管理技術の開発

複数のモデル地域において、本研究で開発する評価手法・データ基盤とデジタルツイン等の新技術を活用し、グリーンインフラの計画・導入・維持管理を実践し、課題を整理する。

